



が響き合ひまち

白

SHIRAKAWA

河

白河市の概要
(携帯版)



白河市の概要（携帯版）

（令和4年9月発行）

●●● 目 次 ●●●

概要.....	3
主要な道路・交通網	4
白河市の歴史.....	5
名所史跡・観光地.....	6
国指定文化財.....	9
年中行事.....	9
施設.....	11
名産.....	13
市公認キャラクター	13
国際交流.....	14
都市交流.....	14
本市出身の著名人.....	14
しらかわ大使.....	15
市民歌.....	15
気象状況.....	16
地目別面積.....	16
人口・世帯.....	17
一般会計歳入歳出予算（令和4年度当初）	19
商工.....	21
企業誘致.....	22
農政.....	23
住宅.....	23
市道.....	23
都市計画.....	23
教育.....	25
水道.....	27
下水道.....	27

※本書内の掲載基準日が未掲載の内容は、平成4年4月時点のものです。

概 要 ●●●

本市は、那須連峰を望む福島県の南部中央に位置し、阿武隈川に沿って東西に市街地が広がっています。高燥・冷涼・清涼な高原性の気候で、四季を通して暮らしやすい風土を有しています。

位 置 北緯37度07分35秒
(市役所) 東経140度12分39秒
標 高 360.50m
面 積 305.32km²

市 の 花 ウメ
白河城主であり、名君^{まつだいらさだのぶ}松平定信を輩出した久松松平家の梅鉢の家紋にちなみ、花は早春葉に先だって開き実を結びます。

市 の 木 アカマツ
白河の象徴である南湖公園周辺に植生しているほか、市内全域にも見られます。

市 の 鳥 ウグイス
白河地方に比較的多く生息し、春には美声で優雅に鳴きます。

市 章 白河市の「白」を図案化し、中心のだ円は輝き集う市民の活力を、外側のだ円の濃い青は豊かな大地と清らかな水を、淡い青はさわやかな青い空を、上部はこれまで育まれてきた歴史と文化を表し、全体の右上がりのデザインは、これらが調和し「白河市」が未来へ向け限りなく躍進していくことを表しています。



(平成17年11月7日制定)

特別職 市長 鈴木 和夫
副市長 圓谷 光昭
教育長 芳賀 祐司
正副議長 議長 筒井 孝充 (令和3年7月15日～)
副議長 石名 国光 (令和3年7月15日～)

市議会議員数 24人

市職員数 544人

白河市の歴史 ●●●

「白河」の地名は、古く奈良時代の文献で確認できます。大化改新以後、白河は陸奥国白河郡の中枢が置かれ、陸奥国と下野国の境には「白河関」が設置されました。これにより、白河は以後奥州の関門として歴史的役割を担うことになります。

鎌倉時代、源頼朝のもとで活躍した結城朝光に白河荘が与えられ、以後約400年にわたって白河結城氏が中世の白河を支配しました。なかでも、南北朝時代に活躍した結城宗広は、奥州南朝方を代表する武将でした。なお、結城氏の本拠は羽目の「白川城」でしたが、南北朝時代に新たに結城親朝の居城として「小峰城」が築かれたとされています。

結城氏は豊臣秀吉による奥羽仕置で領地を失い、白河は会津領になります。蒲生秀行が領主の時代には、小峰城や城下の整備がなされたと考えられます。

江戸時代の初め、初代白河藩主となった丹羽長重は、小峰城の大改修や城下の整備を行い、現在につながる市街地の基礎を築いています。白河藩は、丹羽家から榊原・本多・松平（奥平）・松平（結城）・松平（久松）・阿部と7家21代にわたる藩主の変遷がありました。なかでも松平定信は、老中首座として「寛政の改革」を行い、藩内においては「白河関跡」の場所の断定や「南湖」の築造など、大きな業績を残しています。

なお、表郷地域・東地域および大信地域の一部は、江戸時代中期以降、越後高田藩領となっていました。

慶応2年（1866）の阿部家の榊原移封により、白河は幕府の預かるところとなります。慶応4年（1868）の戊辰戦争白河口の戦いでは、小峰城の主要な建物が焼失・落城し、明治維新を迎えました。

版籍奉還に伴い、白河は明治2年（1869）に白河県、同4年（1871）には二本松県、引き続き福島県に含まれました。同12年（1879）に西白河郡が置かれ、同22年（1889）に白河町制を敷きました。昭和24年（1949）には白河町、大沼村が合併して白河市制を施行しました。

平成17年（2005）には、いわゆる「平成の大合併」により白河市・表郷村・大信村・東村が合併し、新しい「白河市」が誕生しました（市制施行 平成17年11月7日）。

名所史跡・観光地 ●●●

◎しらかわのせきあと白河関跡



白河関は、奈良・平安時代に存在したむつ の くに陸奥国としもつけのくに下野国の国境に設けられた関で、通行人や物資の往来を取り締まる機能を持っていたと考えられています。律令制の衰退とともに、関の機能も失われましたが、その後は歌枕として

文学の世界で多くの古歌に詠まれるようになります。

関の位置は長らく不明となっていました。寛政12年(1800)に白河藩主松平定信が考証して、この地が古代白河関であると断定し「こかんせき古関蹟」の碑を建てました。

◎なんこ南湖公園



南湖公園は、享和元年(1801)に白河藩主松平定信によって「しみんきょうらく士民共楽(武士と庶民が共に楽しむ)」の理念に基づき築造されました。湖は、かんがい用水、失業救済、舟術・水術の鍛練などの機能を持ち合わせていました。

湖水面積は約17.7haあり、湖畔には松・桜・楓などが植えられています。園内には定信をまつた南湖神社をはじめ、日本庭園すいらくえん翠楽苑、茶室共楽亭きょうらくていなどがあります。

◎こみねじょうあと小峰城跡



小峰城は、南北朝時代にゆうきちかとも結城親朝によって築かれたのが始まりとされます。寛永4年(1627)の白河藩成立後、初代藩主にわながしげ丹羽長重は、幕府の命により約4年の歳月をかけて城郭を大改修し、ていからん梯郭式の平山城を築きました。戊辰戦

争白河口の戦いで城郭の大半を焼失しましたが、平成3年(1991)にさんじゅうやぐら三重櫓、同6年(1994)にまえごもん前御門が忠実に復元されました。

また、東日本大震災で崩壊した石垣は、江戸時代以来の伝統工法を基本として、同31年(2019)3月に修復が完了しました。

◎^{さかい}境の明神



境の明神は、福島県と栃木県の県境に並ぶ2つの神社の通称です。陸奥側（白河市）には玉津島明神、下野側（栃木県那須町）には住吉明神がまつられています。古来より国境を往来する際には両神社を参拝し、道中の安全を祈願したといわれています。

松尾芭蕉の奥の細道俳諧紀行で、みちのくの第一歩を記した場所として、句碑や歌碑が建立されています。

◎^{かしま}鹿嶋神社



宝亀年間（770～780）にまつられ、弘仁2年（811）坂上田村麻呂が東夷征伐の際、改めて常陸国鹿嶋大明神を勧請した神社で、古来より白河地方の総鎮守として、歴代城主をはじめ人々の尊崇を集めてきました。文明13年（1481）に白河城主結城政朝が、神前で一日一万句の連歌興行を催したという伝説が残っています。歌枕にある^{うたたね}転寝の森は、当神社の飛地境内です。

◎白河ハリストス正教会



明治11年（1878）に発足したギリシャ正教の教会です。正八角形のドームと白い壁が特徴の、全国でも希少なビザンチン様式による教会は、大正4年（1915）に建立されました。

聖堂内には、日本人最初のイコン画家として知られる、^{やました}山下りんのイコンが残されています。

◎^{かんちゅうめい}感忠銘



南朝の^{ごだいご}後醍醐天皇に忠義を尽くした結城宗広・^{むねひろ}親光父子を後世に伝えるために刻まれた、高さ7.6m・幅2.7mの日本有数の^{まがい}磨崖碑です。

題字の「感忠銘」の三文字は、白河藩主^{まつだいら}松平定信の筆によるものです。

◎に わ ながしげびょう丹羽長重廟



ほうきょういんとう

ある宝篋印塔が立っています。

初代白河藩主丹羽長重の墓所の拝殿で、白河藩大名家墓所（円明寺）の中にあります。現在の建物は、長重の二百年忌である天保7年（1836）に再建されました。後方には、長重の墓で

◎お ほらしょうすけ小原庄助の墓

ばんだいさん

会津磐梯山の唄で有名な伝・小原庄助の墓です。大の酒好きで、辞世の句は「朝によし 昼になほよし 晩によし 飯前飯後 その間もよし」とされています。徳利ととくりと盃さかずきの形をした墓石には「米汁べいじゅう呑どんりょうしん了じ信土」と戒名が刻まれています。

◎ひじりがいわ聖ヶ岩



本市の最高峰・権太倉山ごんたくら（976m）の麓にある巨石で、源義経が奥州平泉あふむつひらふねに向かう途中に名付けたと伝えられています。

◎おとひめざくら乙姫桜



伊達政宗が桜の苗木を将軍家に献上する途中、その1本を植えたものとされる、樹齢400年、高さ13mの紅しだれ桜です。開花時の美しさは、当地方に比類がありません。

◎ビャッコイ



カヤツリ草科の新種として明治38年（1905）に発表され、国内では唯一、表郷金山に自生しています。命名される際、採取地が会津と誤解され、白虎隊にちなんだ名前となりました。

◎フラワーワールド

南湖公園に隣接する花の庭園です。園内は、約2万株もの世界のチューリップやジャーマンアイリス、八重桜などに彩られます。

国指定文化財 ●●●

指定別	名称	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
史跡および名勝	南湖公園	南湖ほか	白河市ほか	大正13年12月9日 昭和59年6月18日 (追加) 平成21年2月12日 (追加) 平成27年10月7日 (追加)
史跡	白河関跡	旗宿関ノ森ほか	白河神社、白河市ほか	昭和41年9月12日
史跡	白河舟田・本沼遺跡群 (下総塚古墳、舟田中道遺跡、谷地久保古墳、野地久保古墳)	舟田中道、本沼岩井戸・本沼野地久保	白河市ほか	平成17年7月14日 平成22年8月5日 (追加)
史跡	白河官衙遺跡群 (借宿鹿寺跡)	借宿株木	白河市ほか	昭和59年7月21日 平成22年8月5日 (追加・名称変更)
史跡	小峰城跡	郭内	白河市ほか	平成22年8月5日 平成24年9月19日 (追加) 平成26年3月18日 (追加) 令和3年3月26日 (追加)
史跡	白川城跡	藤沢ほか	白河市ほか	平成28年10月3日
史跡	天王山遺跡	大岩倉ほか	白河市ほか	令和3年10月11日
重要文化財 (古文書)	白河結城家文書九十通	郭内	白河市	平成8年6月27日

年中行事 ●●●

▶白河だるま市 [2月11日]



江戸時代から続く市で、目抜き通りに「白河だるま」を売る店など約700軒の露店が並びます。県内外から福を求める多くの買い物客でにぎわい、春の訪れを告げる行事でもあります。

▶安珍歌念仏踊 [3月27日]



「安珍・清姫伝説」に登場する修行僧・安珍（根田生まれ）の供養のため「安珍堂」で踊ります。県の重要無形民俗文化財に指定されている「奥州白河歌念仏踊」の1つです。

▶関山山開き [3月下旬]

▶天狗の花まつり (表郷天狗山) [4月中旬]

▶かたくり祭り (白河関の森公園) [4月第2土・日曜日]

▶白河桜まつり [4月中旬]

▶ごんたくらやま権太倉山山開き [4月下旬]

標高976m、市内最高峰の山開きです。

▶せきべ関辺のさんじもさ踊 [7月上旬]



はちまん八幡神社境内で、ほうじょう五穀豊穡を祈って踊られます。さんじもさは「山神さまよ」がなまったものと言われています。県の重要無形民俗文化財に指定されています。

▶とおかいち ちょうちん十日市の提灯まつり [7月下旬]

約7mの竹の先に提灯を灯し、とも笛や太鼓の音に合わせて子どもたちが練り歩く、約300年の伝統があると伝わる祭りです。

▶白河関まつり [8月上旬]



白河の夏の風物詩で、白河駅前の小峰通りを中心に、白河関の踊り流しなどが行われます。夜には、美しく照らし出された小峰城とともに眺められる、市民納涼花火大会が開催されます。

▶しらかわ盆踊り大会 [8月上旬]

▶釜子納涼盆踊り [8月14日～16日]

明治時代から受け継がれている、東釜子地区の伝統行事です。初日は花火大会、最終日は仮装大会も行われます。踊りの最後は「はねっこ踊り」という独特の踊りで盛り上がります。

▶ふるさと川まつりin白河たいしん [8月下旬]

▶白河提灯まつり [9月中旬／隔年]



白河地方の総鎮守として古くから人々の尊崇を集めてきた鹿嶋神社の例大祭です。提灯の油紙を通してほんのりと灯る炎の美しさは神秘的で、それらが連なる行列の様子は、光の芸術と言っても過言ではありません。

▶しらかわ駅伝 [9月中旬]



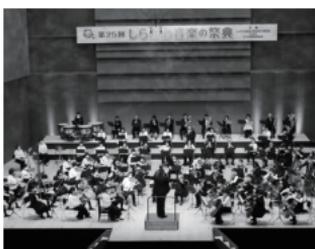
市総合運動公園陸上競技場をスタート・ゴールに開催される駅伝大会です。東日本各地から一般・高校生のチームが多数参加し「駅伝のまち しらかわ」を駆け抜けます。

▶しらかわ^{ふるさと}郷里マラソン [9月上旬]

▶サンライズひがしフェスティバル [11月3日(日程変更の場合あり)]

▶ふるさと白河表郷まつり [11月第1日曜日(日程変更の場合あり)]

▶しらかわ音楽の祭典 [11月第1土曜日(日程変更の場合あり)]



市内小・中・高校および一般団体による合唱・合奏の発表が行われます。白河市コミネス交響楽団も参加し、本市の音楽文化の振興と世代間の交流、音楽に関する表現と鑑賞の場となっています。

施設 ●●●

◎白河文化交流館「コミネス」



本市の文化発信拠点として、平成28年(2016)10月23日に開館しました。鶴が飛び立つ様子を表現した^{どん}緞帳は、本市出身の日本画家・^{いまいしずせん}今井珠泉画伯によって描かれたものです。

①概要

規模 地上4階、地下1階

面積 建築面積/6143.15㎡、延床面積/9783.29㎡

席数 大ホール/1,104席、小ホール/321席

②利用状況

(令和3年度)

	大ホール	小ホール	練習室等	合計
利用回数(回)	196	199	1,378	1,773
利用者(人)	28,951	11,841	6,705	47,497

◎市立図書館「りぶらん」



さまざまなジャンルの本のほか、雑誌や新聞、絵画、郷土資料、CD・DVDなどの視聴覚資料も収蔵しています。

開館1日あたりの入館者数は約650人、貸出図書資料数は約1,800冊と、多くの方に利用されています。

①蔵書数（令和4年3月現在） 315,394冊

②利用状況

（令和3年度）

入館者数	貸出冊数	貸出利用者数
191,268人	523,644冊	85,217人

◎なかもまぎしゅう中山義秀記念文学館

大信出身の芥川賞作家・中山義秀（1900-1969）の文学的業績を後世に伝えるため、平成5年（1993）4月5日に開館しました。開館を記念し創設された「中山義秀文学賞」は、全国レベルの歴史・時代小説を対象とした文学賞です。

◎小峰城歴史館



大人から子どもまで、楽しみながら小峰城を学べる施設です。パネルやジオラマ・モニター映像などで小峰城の歴史を分かりやすく解説しているほか、小峰城の四季などをCGで楽しめるVR望遠鏡、CGで復元した江戸時代の小峰城の映像を270度の三面スクリーンで映写するVRシアターがあります。

◎アナビススポーツプラザ



震災復興のためカタル王国が創設した「カタルフレンド基金」の支援を受け、市総合運動公園内に建設されました。フットサルコートやキッズルームを備えたスポーツプラザです。

◎きつねうち温泉

東風の台運動公園の一角にある温泉施設です。泉質はアルカリ性単純温泉で、美肌の湯として知られています。

名産 ●●●

◎白河だるま



白河藩主松平定信のお抱え絵師・
谷文晁が手本を描いたとされ、顔には
まゆに鶴、ひげに亀、耳びんに松と梅、
あごひげに松と竹があしらわれ、大変
縁起のよいだるまです。

◎白河ラーメン



心地よい歯ごたえの手打ち縮れ麺と、
コクがありながらもさっぱりとした味
わいの、しょう油味のスープに特徴が
あります。全国有数のラーメン処で、
市内には100軒近くの店があります。

◎白河そば



本市におけるそばの歴史は、松平
定信が冷害に強いそばの栽培を奨励し
たことから始まります。盛岡・信州・
出雲とともに日本四大そば処の1つと
されています。

市公認キャラクター ●●●



ダルライザー

転んでも起き上がるだるまがモチーフ。平成29年に製作した映画は、全国各地で公開されています。



小峰シロ

小峰城(桜花)・南湖公園(鏡花)・白河の関(葉花)に変身する、萌えキャラ初の変身ヒロイン。



しらかわん

特徴的な眉毛は、白河だるまの「鶴」の眉がモチーフ。胸元には市の花「梅」が描かれています。

国際交流 ●●●

◆フランス共和国オワーズ県コンピエーニュ市

提携調印 昭和63年(1988)10月20日
位 置 パリの北東約80km

◆アメリカ合衆国ミネソタ州アノーカ市

提携調印 平成14年(2002)10月13日
位 置 ミネアポリスの北約35km

都市交流 ●●●

◇三重県桑名市・埼玉県行田市

文政6年(1823)に白河藩主が桑名藩主へ、桑名藩主が忍藩主(行田市)へ、忍藩主が白河藩主へという三方領知替が行われました。この歴史的縁により教育・文化・経済各般にわたる交流への機運が高まり、平成10年(1998)11月9日に白河市・桑名市・行田市の友好都市調印が行われました。

◇埼玉県戸田市

平成5年(1993)、農林省の「都市と農村の交流事業」を契機に旧大信村と交流が始まり、平成5年(1993)4月25日に姉妹都市を締結しました。合併後の平成19年(2007)1月20日に友好都市調印が行われました。



▲六華苑(桑名市)



▲忍城(行田市)



▲戸田漕艇場(戸田市)

本市出身の著名人 ●●●

関根 正二氏(洋画家)

今井 珠泉氏(日本画家)

班目 秀雄氏(競輪選手、東京オリンピック出場)

班目 真紀夫氏(自転車競技選手、バルセロナオリンピック出場)

伏見 俊昭氏(競輪選手、アテネオリンピック銀メダリスト)

藤田 敦史氏(陸上競技選手、男子マラソン元日本記録保持者)

遠藤 純氏(サッカー選手、U-20女子ワールドカップ優勝)

しらかわ大使 ●●●

田口 信太郎 氏

(元(株)東邦銀行取締役、元NHK福島放送局長)

戸井田 和彦 氏

(学校法人立教学院理事長、元日産自動車(株)常務執行役員)

野崎 洋光 氏 (日本料理店「分とく山」総料理長)

川瀬 七緒 氏 (第57回江戸川乱歩賞受賞作家)

矢崎 潤子 氏

(株)オフィスノベント代表取締役、クリエイティブプロデューサー)

菅山 明美 氏 (元(株)NHKエンタープライズ経営企画室部長)

※委嘱期間 令和3年(2021)8月1日から2年間

市民歌 ●●●

「このまちがすき」

作詞

飯泉雅之

補作詞/作曲

青島広志

このまちがすき 生まれたまちだから
思い出してほしい 澄みきった南湖の水面を
みんなで楽しむ笑顔で あふれている
振り返ってほしい 赤松に抱かれた公園を
守り育てた木立が 息づいている
このまちがすき 自然を愛する心があるから

このまちがすき 住んでるまちだから
踏みしめてほしい 旅人が歩いた関所を
力強く踏み固めた 足跡がある
確かめてほしい 梅の香りのふるさとを
営みとふれあいが 充ち満ちている
このまちがすき 人を思いやる気持ちがあるから

このまちがすき 生きてくまちだから
訪れてほしい お城の壮大な石垣
汗と涙に刻まれた 歴史がある
覚えていてほしい 人が行き交うまち並みを
みんなで築く未来が すぐそこにある
このまちがすき 人が暮らしてる息吹があるから

(市制施行5周年記念)

気象状況 ●●●

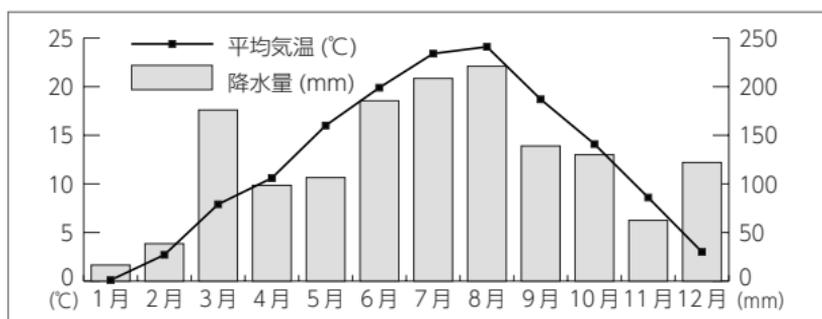
気象庁ホームページより

区分 \ 年次	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
最高気温 (°C)	33.5	35.7	35.0	35.5	34.9
最低気温 (°C)	-7.6	-10.3	-7.2	-6.3	-9.9
平均気温 (°C)	11.7	12.7	12.5	12.7	12.4
年降水量 (mm)	1328.5	1211.0	1995.5	1255.0	1504.5
最深積雪 (cm)	35.0	25.0	10.0	14.0	15.0
最大瞬間風速 (m/s)	32.7	26.7	27.7	27.4	27.5
年日照時間 (h)	1850.5	2008.0	1877.1	1733.5	1874.7

令和3年月別値

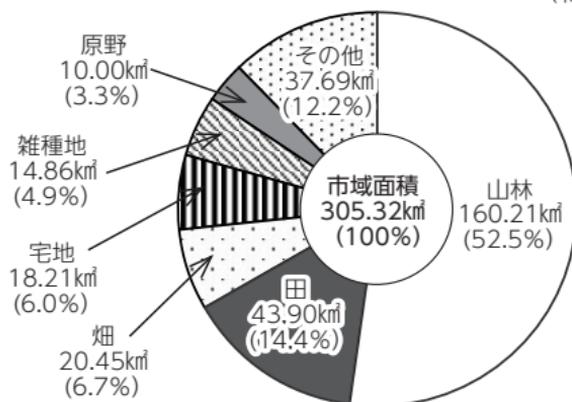
気象庁ホームページより

平均気温 (°C)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温 (°C)	0.1	2.7	7.9	10.6	16.0	19.9	23.4	24.1	18.7	14.1	8.6	3.0
降水量 (mm)	16.5	38.5	176.0	98.5	106.5	185.5	208.5	221.0	139.0	130.0	62.5	122.0



地目別面積 ●●●

(令和4年1月現在)



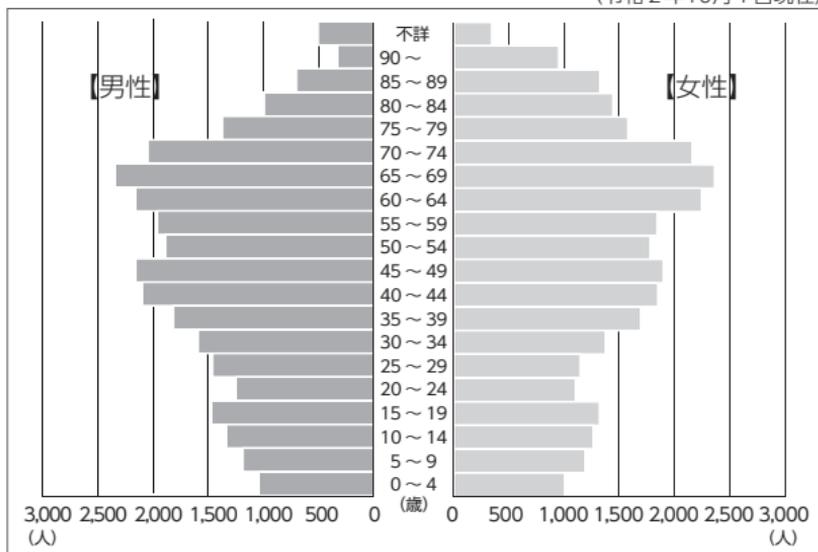
人口・世帯 ●●●

①現住人口

	人口総数 (人)	世帯 (世帯)
白河市	58,318	23,904
人口密度191人/km ² 1世帯あたり2.4人		

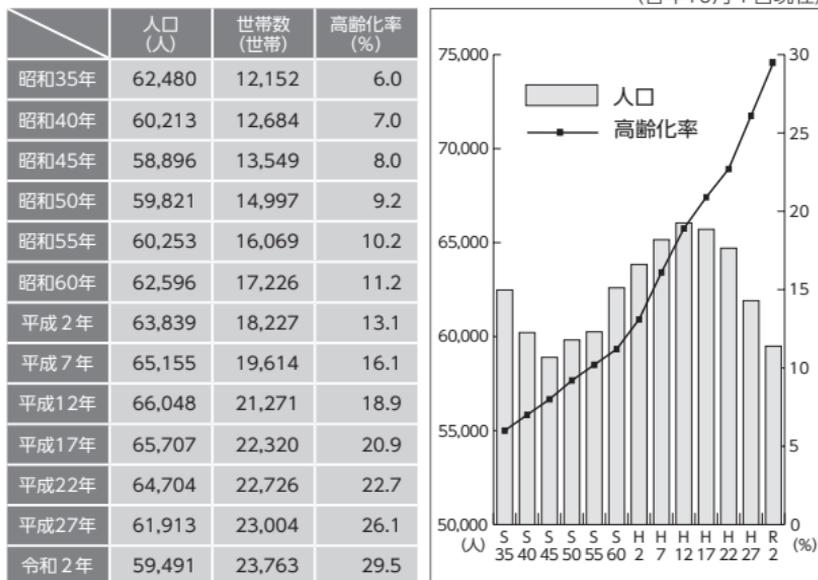
②年齢別人口 (5歳階級)【国勢調査】

(令和2年10月1日現在)



③人口・世帯数と高齢化率の推移【国勢調査】

(各年10月1日現在)



④人口動態

(各年1月1日現在)

	自然動態			社会動態			増減
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減	
平成24年	483	677	△194	2,012	2,515	△503	△697
平成25年	491	659	△168	2,144	2,318	△174	△342
平成26年	522	695	△173	2,165	2,249	△84	△257
平成27年	474	665	△191	2,039	2,258	△219	△410
平成28年	492	671	△179	1,895	2,236	△341	△520
平成29年	447	682	△235	1,933	2,281	△348	△583
平成30年	438	675	△237	1,981	2,276	△295	△532
令和元年	392	718	△326	2,120	2,376	△256	△582
令和2年	353	647	△294	2,009	2,154	△145	△439
令和3年	378	731	△353	1,872	2,194	△322	△675

福島県現住人口調査年報より

⑤産業別就業者【国勢調査】

		令和2年	
		就業者数(人)	構成比(%)
白河地域	第1次産業	847	3.9
	第2次産業	7,879	36.5
	第3次産業	12,537	58.1
	計	21,594	100.0
表郷地域	第1次産業	318	11.1
	第2次産業	1,162	40.7
	第3次産業	1,365	47.8
	計	2,858	100.0
大信地域	第1次産業	242	12.5
	第2次産業	824	42.7
	第3次産業	840	43.5
	計	1,932	100.0
東地域	第1次産業	399	15.2
	第2次産業	1,042	39.6
	第3次産業	1,115	42.4
	計	2,630	100.0
白河市	第1次産業	1,806	6.2
	第2次産業	10,907	37.6
	第3次産業	15,857	54.7
	合計	29,014	100.0

※合計には分類不能の産業が含まれています

一般会計歳入歳出予算（令和4年度当初）



①歳入

(単位：千円)

区 分		令和4年度	令和3年度	比 較
一般財源	市 税	9,067,723	8,583,663	484,060
	地方交付税	6,819,215	5,957,935	861,280
	臨時財政対策債	400,000	1,470,000	△1,070,000
	地方譲与税	362,816	318,547	44,269
	利子割交付金	5,178	5,939	△761
	配当割交付金	23,910	19,354	4,556
	株式等譲渡所得割交付金	16,148	15,847	301
	法人事業税交付金	139,062	71,498	67,564
	地方消費税交付金	1,424,172	1,358,653	65,519
	ゴルフ場利用税交付金	31,069	24,589	6,480
	環境性能割交付金	30,978	22,328	8,650
	地方特例交付金	46,804	136,304	△89,500
	交通安全対策特別交付金	7,800	7,600	200
	計	18,374,875	17,992,257	382,618
特定財源	国庫支出金	4,190,681	4,256,030	△65,349
	県支出金	2,456,903	2,487,865	△30,962
	繰入金	978,067	1,056,075	△78,008
	市 債	1,779,300	1,960,400	△181,100
	分担金及び負担金	92,378	91,231	1,147
	使用料及び手数料	269,045	280,750	△11,705
	財産収入	75,441	70,686	4,755
	寄附金	75,650	55,251	20,399
	繰越金	1	1	0
	諸収入	387,659	469,454	△81,795
	計	10,305,125	10,727,743	△422,618
歳入合計		28,680,000	28,720,000	△40,000
うち一般財源		18,374,875	17,992,257	382,618
うち特定財源		10,305,125	10,727,743	△422,618

②歳出（目的別）

（単位：千円）

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
議会費	260,592	263,949	△3,357
総務費	2,929,493	2,497,812	431,681
民生費	8,643,233	8,448,342	194,891
衛生費	2,263,654	2,039,879	223,775
労働費	12,931	13,125	△194
農林水産業費	1,809,189	2,006,433	△197,244
商工費	1,069,392	933,779	135,613
土木費	3,414,456	3,755,113	△340,657
消防費	851,794	871,273	△19,479
教育費	4,149,657	4,757,995	△608,338
災害復旧費	4	4	0
公債費	3,225,605	3,082,296	143,309
予備費	50,000	50,000	0
歳出合計	28,680,000	28,720,000	△40,000

③歳出（性質別）

（単位：千円）

区 分		令和4年度	令和3年度	比 較
義務的経費	人件費	4,988,749	4,815,836	172,913
	扶助費	5,180,432	5,123,576	56,856
	公債費	3,255,136	3,112,057	143,079
	計	13,424,317	13,051,469	372,848
投資的経費	普通建設事業費	3,396,888	3,818,279	△421,391
	災害復旧事業費	358,472	209,161	149,311
	計	3,755,360	4,027,440	△272,080
その他の経費	物件費	4,287,237	4,300,187	△12,950
	維持補修費	516,165	523,251	△7,086
	補助費等	4,218,104	4,361,154	△143,050
	積立金	12,167	12,008	159
	投資及び出資金	49,701	47,809	1,892
	貸付金	178,880	201,360	△22,480
	繰出金	2,188,069	2,145,322	42,747
	予備費	50,000	50,000	0
計	11,500,323	11,641,091	△140,768	
歳出合計	28,680,000	28,720,000	△40,000	

①商業の現況

(平成28年6月1日現在)

区 分	卸売業	小売業	計
商店数(店)	133	485	618
従業員数(人)	842	3,390	4,232
年間商品販売額(百万円)	48,591	69,781	118,372

経済センサスー活動調査より ※四捨五入により端数が異なります

②工業の現況

(平成28年6月1日現在)

産業別	事業所数	従業員数	製造品出荷額等(万円)
食 料	22	621	1,656,550
飲 料	4	37	53,917
織 維	17	270	266,086
木 材	4	85	153,069
家 具	3	96	154,665
紙・パルプ	5	119	310,935
印 刷	4	54	51,589
化 学	3	338	4,638,189
プラスチック	11	404	1,741,801
ゴ ム	6	1,855	12,665,708
窯 業	9	283	699,195
鉄 鋼	4	144	658,905
非 鉄	5	188	1,606,289
金属製品	12	491	1,059,653
はん用機械器具	3	40	143,830
生産用機械器具	8	162	233,191
業務用機械器具	6	332	901,320
電子・デバイス	7	390	1,534,157
電気機械器具	13	319	587,887
情報通信機械器具	4	291	468,879
輸送用機械器具	7	260	418,317
その他	5	31	18,317
計	162	6,810	30,022,449

経済センサスー活動調査より

企業誘致 ●●●

①企業立地件数

年 度	立地件数	立地面積 (㎡)	業 種
平成28	2	23,219	インターネット付随サービス、弱電機器
平成29	3	12,593	タッチパネル、金属製品加工、事務用機械製造
平成30	3	19,457	プラスチック加工、弱電機器
令和元	2	5,468	弱電機器、建築用木製加工
令和2	0	0	
令和3	4	90,693	センサー部品加工、日用雑貨品製造、除菌剤 等
平成9年度 からの累計	55	1,114,802	

※1,000㎡以上の事業用地を取得した企業数

②分譲可能な工業団地等

名 称	工業の森・新白河 (A 工区)	新白河ビジネスパーク	堂山業務用団地
事業主体	福島県	福島県	白河市
所 在	萱根 外	十三原道上 外	大信増見字下川原 外
総面積 (㎡)	100,000	365,300	20,276
分譲可能面積 (㎡)	100,000	10,511	1,414
地域指定	—	—	—
立地件数 (件)	—	16	1
分譲価格	応談 (オーダーメイド型)	15,000円/㎡	—

③主な企業

企業名	業種 (主要製品名)
住友ゴム工業(株) 白河工場	自動車用タイヤ
三菱ガス化学(株)	脱酸素剤・特殊フィルム・工場野菜
(株)ディーアンドエムホールディングス白河ワークス	オーディオ機器・業務用機器
(株)川金ダイカスト工業	アルミダイカスト製品
EAファーマ(株)福島事業所	医薬品製剤
パナソニック(株)オートモーティブ社 車載システム事業部白河工場	車載カメラ
(株)加藤螺子製作所白河工場	自動車・建設車両用ボルトナット、精密ネジ部品
(株)光陽社	金属用研磨剤
(株)三谷精密白河工場	エアゾールバルブ部品
大盛工業白河工場(株)	自動車部品、輸送用工具
浅井ショーワ(株)	自動車部品

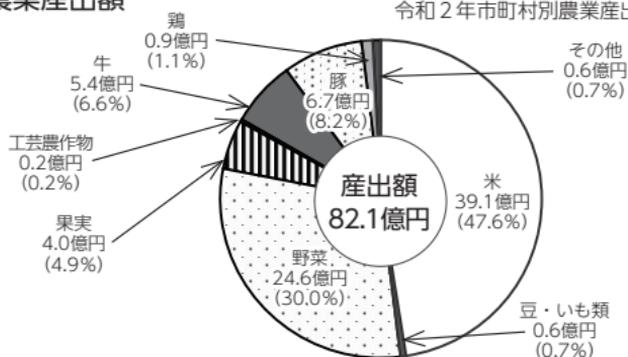
農 政 ●●●

2020年農林業センサスより

区 分	総 数	内 訳
販売農家戸数	1,651戸	専業 272戸、兼業 1,379戸
農業就業人口（15歳以上）	2,535人	男 1,570人、女 965人
経営耕地	3,921ha	田 3,359ha、畑 420ha、樹園地 142ha

■農業産出額

令和2年市町村別農業産出額（推計）より



住 宅 ●●●

市営住宅

戸数 968戸

市 道 ●●●

実延長	路線数	舗装延長	未舗装延長	舗装率
1,013,553m	1,897	710,761m	302,791m	70.0%

都市計画 ●●●

■区域・地域

①都市計画区域

県南都市計画区域（白河市：25,223ha）

②風致地区

（単位：ha）

地区名	南 湖	中 央	小峰城跡	羅漢山	搦 目	計
面 積	117.7	33.2	8.6	48.3	38.5	246.3

③用途地域

地域別	面積 (ha)	構成比 (%)	建ぺい率 (%)	容積率 (%)
第1種低層住居専用	178.5	13.9	40・50	60・80
第2種中高層住居専用	2.9	0.2	60	200
第1種住居	401.6	31.2	60	200
第2種住居	96.1	7.5	60	200
近隣商業	67.5	5.3	80	200
商業	89.0	6.9	80	300・400
準工業	109.9	8.6	60	200
工業	340.0	26.4	60	200
計	1285.5	100.0		

■都市公園

種別	公園名	開設面積(ha)	主な施設
風致	南湖公園	46.16	自由広場、遊戯施設、翠楽苑、トイレ、駐車場
総合	城山公園	9.50	自由広場、小峰城歴史館、休憩所、トイレ、駐車場
街区	友月山児童公園	0.08	遊戯施設、トイレ
	双石公園	0.17	遊戯施設
	稲荷山公園	0.36	遊戯施設
	高山北公園	0.25	遊戯施設
	高山西公園	0.25	遊戯施設
	一里段公園	0.91	遊戯施設、トイレ
近隣	鶴子山公園	3.80	自由広場、遊戯施設、休養施設、ゲートボール場、トイレ、駐車場
	葉ノ木平震災復興記念公園	0.84	芝生広場、トイレ、防災倉庫、防災トイレ
運動	総合運動公園	11.20	陸上競技場、多目的広場、中央体育館、市民テニスコート、プール、遊戯施設、中央花壇、トイレ、駐車場
	しらすかの森スポーツ公園	19.32	野球場、多目的広場、テニスコート、トイレ、駐車場
	表郷総合運動公園	8.89	野球場、多目的広場、体育館、ゲートボール場、多目的研修センター、イベント広場、トイレ、駐車場
	大信総合運動公園	5.88	野球場、多目的広場、テニスコート、プール、ゲートボール場、トレーニングセンター、遊戯施設、野外炊飯場、トイレ、駐車場
	東風の台運動公園	17.41	多目的広場、体育館、弓道場、テニスコート、プール、ゲートボール場、ローラースケート場、遊戯施設、キャンプ場、ハイキングコース、トイレ、駐車場
墓園	羅漢墓地	2.88	休養施設
	計	127.90	

教 育 ●●●

① 専門学校

しらかわ介護福祉専門学校

② 高等学校

福島県立白河高等学校

福島県立白河旭高等学校

福島県立白河実業高等学校

福島県立白河第二高等学校（夜間定時制）

③ 中学校

（令和4年5月1日現在）

学校名	生徒数（人）	学級数		教職員数（人）
		通常	特別支援	
白河中央中	451	15	3	38
白河二中	431	14	2	36
東北中	122	6	0	16
白河南中	114	5	3	19
五箇中	22	2	0	14
表郷中	158	6	3	24
大信中	107	5	1	18
東 中	127	6	1	20
計	1,532	59	13	185

④ 小学校

（令和4年5月1日現在）

学校名	児童数（人）	学級数		教職員数（人）
		通常	特別支援	
白河一小	277	10	4	29
白河二小	554	18	4	49
白河三小	481	18	3	35
白河四小	188	7	2	17
白河五小	197	9	2	20
小田川小	65	6	0	13
五箇小	64	5	1	13
関辺小	119	6	1	16
みさか小	334	12	3	27
表郷小	293	12	3	31
大信小	164	6	2	17
小野田小	66	6	2	17
釜子小	152	7	1	19
計	2,954	122	28	303

⑤幼稚園

(令和4年5月1日現在)

市立 (8)				私立 (6)			
幼稚園名	園児数 (人)	学級数	教員数 (人)	幼稚園名	園児数 (人)	学級数	教員数 (人)
大沼	43	3	8	認定こども園ぼだい樹	29	3	8
白坂	45	3	8	同西こども園	54	3	9
小田川	15	2	7	認定こども園さくらの木	30	3	6
五箇	20	3	6	カトリック	137	4	21
関辺	42	3	8	丘の上	127	7	17
表郷	115	6	21	認定こども園らのみな	12	4	17
大信	65	5	15				
ひがし	87	6	17				
計	432	31	90	計	389	24	78

⑥保育園・認定こども園

区分			定員 (人)	入園児数 (人) (うち3歳未満児)
市立	さくら	土・乳・障・延	90	90 (36)
	わかば	土・乳・障・延・一	150	140 (54)
	おもてごう	土・乳・障・延	65	44 (44)
	たいしん	土・乳・延	50	22 (22)
	ひがし	土・乳・延	60	39 (39)
関の森 (へき地)			—	一時休園
計			415	
白河みのり (社会福祉法人)			89	81 (32)
白河 (社会福祉法人)			120	109 (51)
ぼだい樹 (学校法人)			100	91 (32)
ぼだい樹西こども園 (学校法人)			80	65 (26)
さくらの木 (学校法人)			60	49 (13)
丘の上 (学校法人)			40	30 (30)
認定こども園らのみな (学校法人)			93	67 (28)
広域入所				5 (4)

※土：土曜日一日保育実施、乳：乳児保育実施、障：障がい児保育実施、延：延長保育実施、一：一時的保育実施

⑦放課後児童クラブ

児童クラブ名	定員 (人)	入会児童数 (人)	職員数 (人)	児童クラブ名	定員 (人)	入会児童数 (人)	職員数 (人)
白河一小	99	107	7	せきべ	64	36	3
白河二小	150	126	10	みさか小	114	107	7
白河三小	151	131	9	表郷小	119	96	6
にこにこ	37	0	0	大信小	50	26	3
おおぬま	86	54	4	大信小第二	30	19	2
しらさか	40	43	3	小野田小	38	27	3
しらさかあったか	43	30	2	かまこ	80	58	5
こたがわ	34	28	3				
五箇小	54	10	2	計 (16か所)	1,189	898	69

水 道 ●●●

■上水道

①事業内容（令和3年度）

事業創設認可	昭和26年5月19日認可（平成28年3月31日事業統合による変更認可）
計画給水人口	60,820人
計画最大給水量	27,080m ³ /日
給水人口	58,749人
給水戸数	24,627戸
年間配水量	7,441,202m ³

②予算（令和4年度当初）

（単位：千円）

収 入		支 出	
収益的収入	1,258,922	収益的支出	1,217,832
資本的収入	451,391	資本的支出	1,074,561

■工業用水道

事業年次	平成9年度（平成9年12月26日認可）	
計画最大給水量	6,000m ³ /日	
主な事業	水 源	取水ポンプ（φ125mm×5段×37kw）3基
	送水管	DIP φ250～350mm、L=8,219.30m SUS φ350mm、L=130.40m
	配水池	AB工区 SUS V=2,000m ³ C工区 SUS V=1,200m ³
	配水管	DIP φ200～300mm、L=2,383.37m

下水道 ●●●

①公共下水道の整備状況

（令和4年3月31日現在）

	全体計画	事業認可計画（第6期）	供用済区域
処理面積	2,215ha	1,170ha	904ha
処理人口	36,770人	32,050人	29,375人
処理水量（日最大）	24,700m ³ /日	24,700m ³ /日	17,120m ³ /日
排除方式	分流式		

②農業集落排水事業

平成25年度末までに、計画21地区すべてを整備済み。
更新計画に基づき、施設の更新工事を実施中。

③浄化槽市町村整備推進事業

令和3年度までの累計整備基数 725基

白 河

SHIRAKAWA



白河市の概要（携帯版）

（令和4年9月発行）

住所：〒961-8602 福島県白河市八幡小路7-1

電話：0248-22-1111（代表）

ホームページ：www.city.shirakawa.fukushima.jp/

e-mail：hisho@city.shirakawa.fukushima.jp